

10 国際学部

I 教育理念と人材育成の目的

国際学部では、グローバル社会において地域と世界を繋ぐ役割を担う人材を育成するため、国際的な広い視点からグローバル社会の課題を発見し、解決する能力と意欲を備えるとともに、自らの地域を愛し世界に発信することのできる人材を育成することを目指している。また、国際性と人間性を兼ね備えた世界市民として多様な価値観の人々と積極的に協働することができ、社会貢献できる人材の養成を眼目としている。

これからの人材に必要とされる資質や能力については、OECDにおけるキー・コンピテンシーの議論をはじめとして、21世紀型スキル、汎用的能力など、これまで多くの提言が国内外でなされてきた。これは、将来においても腐朽しない普遍的なコンピテンシーであると考えられている。

世界と地域が直接繋がるグローバル化の時代と予測不能な現代社会が共存する中、しなやかで優しさを持って生きていけるよう、社会現象の本質を見抜く知識を有するとともに、多文化を理解し、またそれに対応できるコミュニケーション能力をも有するグローバル人材の素養、そして国際的な広い視点から世界と地域の課題とその解決を考え、日本と世界の両方で活躍することができるグローバル人材の素養の両者を併せ持つ「国際教養人」の育成を目的とする。

II 教育課程の基本方針

国際学部の学位授与方針（ディプロマポリシー）を達成するための基本方針は以下の通りである。

- ① 英語をはじめとする外国語教育の強化
英語のみならず副言語としての中国語の教育も行い、ビジネスや観光の場面で運用できる能力の育成を図る。
- ② 豊かな教養と異文化理解の精神を身につける
世界の現象や変化を理解・分析し、地域や文化の多様性への理解を涵養することを目的とした科目を多く配置している。
- ③ コミュニケーション能力の向上
英語と日本語の双方による対話型のカリキュラムを組むことでその実現を図る。
- ④ 課題解決能力の養成
世界諸地域と日本の言語・文化・社会に関する幅広い知識と両者の関係性に対する生きた想像力を礎としつつ専門科目を学ぶことができ、教養力やコミュニケーション力の基礎を十全に育成することができる。

III 教育課程の構成と概要

上述の目的を達成するために国際学部の教育課程は(1)教養科目、(2)専門科目から構成されている。なお、詳細は各学科の頁で紹介する。